

■自治基本条例検討委員会市民討議（中間報告会） 実施概要およびアンケート集計結果

◎市民討議（中間報告会）・実施概要

●川崎会場

日 時 : 平成16年4月24日（土）13:00～16:30
場 所 : 川崎市産業振興会館4階企画展示場（B・C）
参加者数 : 約40名

●溝口会場

日 時 : 平成16年4月25日（日）13:00～16:30
場 所 : 高津区役所5階会議室（第1～3会議室）
参加者数 : 約90名

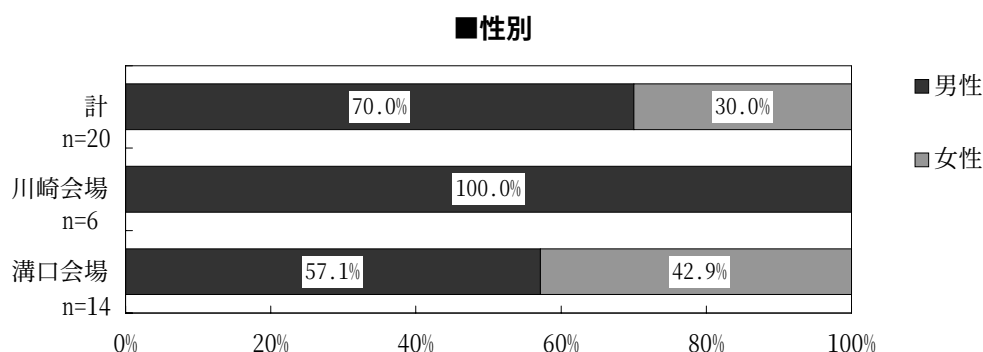
◎市民討議（中間報告会）・アンケート集計結果

回収数 川崎会場：6票 / 溝口会場：14票

1. 回答者の属性

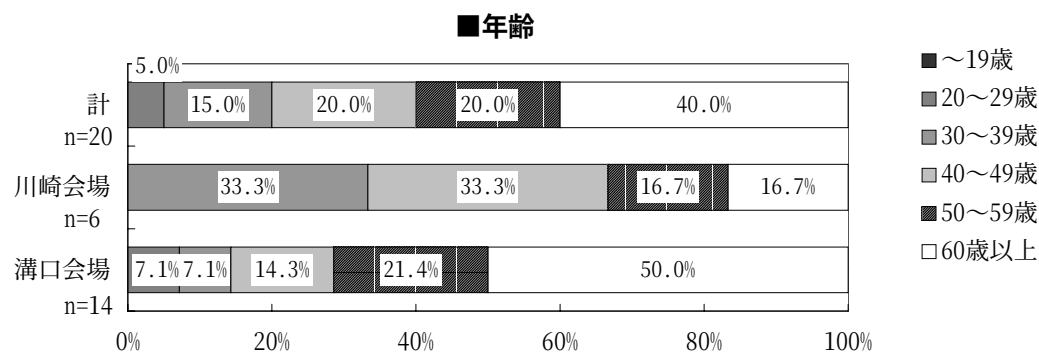
①性別

・「男性」が70.0%、「女性」が30.0%であった。



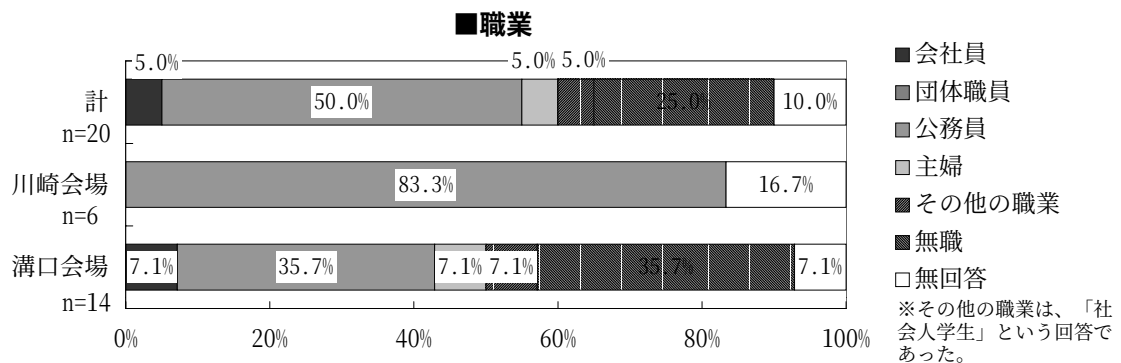
②年齢

・「20代」が5.0%、「30代」が15.0%、「40代」が20.0%、「50代」が20.0%、「60歳以上」が40.0%であった。



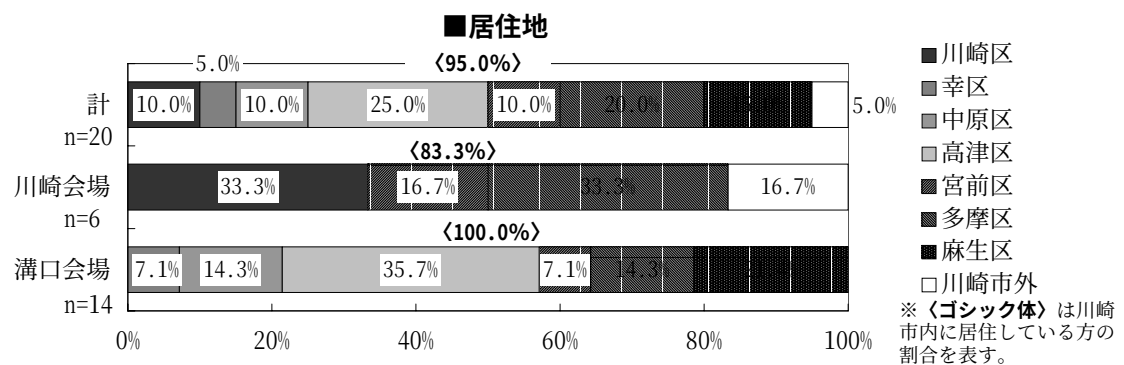
③職業

- ・「公務員」が50.0%、「無職」が25.0%、「会社員」「主婦」「その他の職業」がそれぞれ5.0%であった。



④居住地

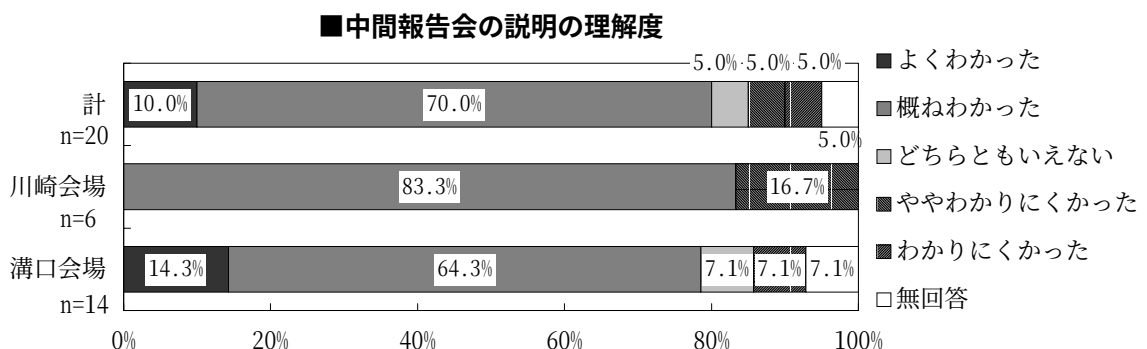
- ・「川崎市内」が95.0%、「川崎市外」が5.0%であった。
- ・川崎市内の区別の内訳をみると、「高津区」が25.0%、「多摩区」が20.0%、「麻生区」が15.0%、「川崎区」「中原区」「宮前区」が10.0%、「幸区」が5.0%となっている（総数に占める割合）。



2. 市民討議（中間報告会）の感想など

①中間報告会の説明の理解度について

- ・「概ねわかった」が70.0%で最も多く、「よくわかった」の10.0%とあわせて、8割の方がわかったと答えている。
- ・「どちらともいえない」「ややわかりにくかった」「わかりにくかった」は、それぞれ5.0%であった。



●理由

1) 「よくわかった」理由

・進めてきた経緯はよく整理されていたが、中味はどうも整理されていないように感じた。	溝
・シンポジウム「地方の時代」の当時から参加していたので	溝

2) 「概ねわかった」理由

・初めて参加しましたが、わかりやすい説明で概ね理解することができました。	溝
・ポイントが簡潔にまとめられ、わかりやすかったです。対立する意見などが明示されるとグループ討議につながりやすいかも？	溝
・基本的な考え方は理解できました。	溝

3) 「どちらともいえない」理由

・不勉強で認識にギャップ、1000余のうちいくつかでも具体的な意見の紹介が欲しかった。	溝
---	---

4) 「ややわかりにくかった」理由

・条例案は市民討議の前に公表すること	川
--------------------	---

5) 「わかりにくかった」理由

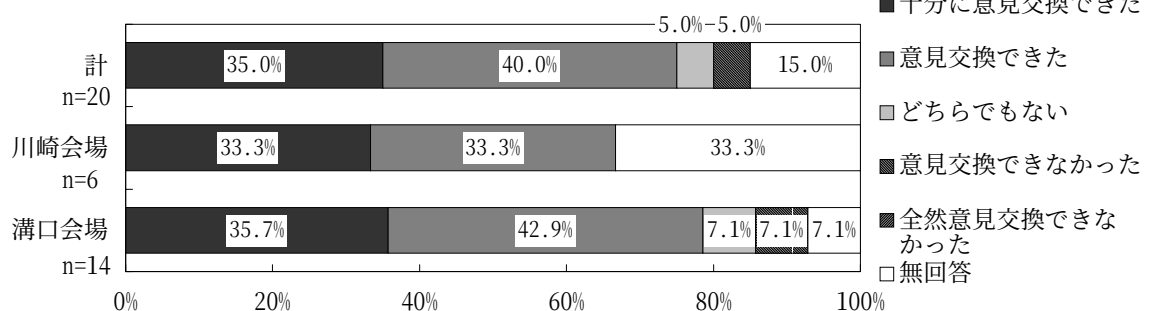
・中間報告書の解説はポイントを整理して話していただきたかった。時間が長くて聞いているのが疲れました。	溝
--	---

※右欄は、会場（「川」…川崎会場、「溝」…溝口会場）を表す。

②グループ討議（ワークショップ）における意見交換の満足度

- ・「意見交換できた」が 40.0%で最も多く、「十分に意見交換できた」の 35.0%とあわせて、3/4の方が意見交換できたと答えている。
- ・「どちらでもない」「意見交換できなかった」がそれぞれ5.0%であり、「全然意見交換できなかった」と答えた方はいなかった。

■グループ討議（ワークショップ）における意見交換の満足度



●理由

1) 「十分に意見交換できた」理由

・今日出た意見を少なくとも反映させ、今後の検討につなげてください。	溝
・一時間では十分な検討ができなかった。	溝

2) 「意見交換できた」理由

・楽しかったです。また機会がもてたら...	溝
・中間報告会を各区で行う必要があったのでは。	溝

3) 「どちらでもない」理由

・カードは個々に相当数出たが、議論は片寄り主テーマからは離れた。	溝
----------------------------------	---

4) 「意見交換できなかった」理由

・テーマ②が難しすぎた。全くテーマからかけ離れた意見もあった。	溝
---------------------------------	---

5) 「全然意見交換できなかった」理由

(該当なし)	—
--------	---

※右欄は、会場（「川」…川崎会場、「溝」…溝口会場）を表す。

③今後の自治基本条例の検討方法などに対する意見

■検討方法について	
・市民の皆さんの思いの方向性は同じはずですが、理念程度なら全て早めにまとめていただいて、制度、しくみをご検討ください。優先順位をつけるとなると大変だと思いますが、...	溝
■市民意見等の聴取方法について	
・条例素案は市民討議に提案する前に一般市民に公表し十分検討の時間を与えること。	川
・大変だと思うが、機会を多く、参加者を多く検討会をもち、多様な市民意見を吸収していただきたい。	溝
・若者の参加をどう促すか。親子で参加できるように、わかりやすい報告会の提供の仕方を考える必要があるのでは？	溝
・子供から高齢者まで、無作為抽出でいいのですが、アンケートをとるなどの意見聴取が必要ではないか。1000余の意見集約の内訳には、委員の意見以外に聴取したものがあるのでしょうか？これからは多くの意見が取り入れられると思いますが。	溝
・市職員への研修の機会も考えていただきたい。	溝
■その他	
・「市民自治とはどういうものなのか」また「市民と行政の合意形成のあり方」について自分なりに調べて勉強してみたいと思う。	溝

※右欄は、会場（「川」…川崎会場、「溝」…溝口会場）を表す。

④その他の意見など

■具体的な検討事項などの提案・意見	
・何故必要なのか、必然性について全市民が分かるようにする必要があります。本当に理解されれば、市民立法（直接請求）によって、制度化することも出来るのではないのでしょうか。	川
・市民の規定については、働く人達を含め「滞在者」を排除しないでほしい。	川
・団体自治との関係について、どのように検討されているのか明らかにしてほしい。	川
・議員が何を行っているか、判るような仕組みの確立。	溝
・区議・市議の活動実態を公開で議論し、共有すべきではないか。選りばなし選ばれっぱなしはイケナイ。	溝
・情報を公開することと、自治体として情報（市民の現状、声、国の動き、時代の流れ）をつかむ力について強化することを検討してほしい。	川
・自治を動かしているのは、行政の人達です。行政の人達が市民の部下として働くのではなく、市民のニーズを熟知した活動ができるような条例にして下さい（特に長期計画）（市長や議員が変わっても行政は仕事を続けられます）。	溝
・今日も、市民による事業提案制度が出ていましたが、身近な課題を解決するための市民提案、市民が実施する制度があるといいと思う。	溝
・新しい条例で、市民参画が着実にできるルールを決めてください（今までの市民参画は形だけのものが多い）。	溝
・具体的な業務・事業について、どのような内容が自治基本条例の中で取り組むことができるのか。地域の身近な問題を地域で取り組むことができるのか。保育の問題、環境の問題、経済的問題（課題）等様々あると思うのですが、...	溝
・今日意見の出なかった安全（防災）等については他の法律に規定されるのでしょうか。	溝
■その他の意見	
・個人的には、わかりやすい的を絞ったものを掲げていただければと思います。	溝

※右欄は、会場（「川」…川崎会場、「溝」…溝口会場）を表す。